

ROSE

2007 WINTER Vol.58

ROSE THEATRE
ART INFORMATION
OF FUJICITY
CULTURE MAGAZINE
ROSE



ロゼの片隅

INTERVIEW

クミコ

The 市制40周年記念ミュージカル
舞台裏 「Memory
～ロゼシアターのクリスマス★キャロル～」

EVENT CALENDAR 2007

粋な大人時間
特集 市民参加によるイベント特集

ピックアップアーティスト

青島広志連載 ～作曲家とその妻たち 第4回～
「メンデルスゾーン
フィーリスクとファニー」

Flash Back

INFORMATION FROM ROSE THEATRE



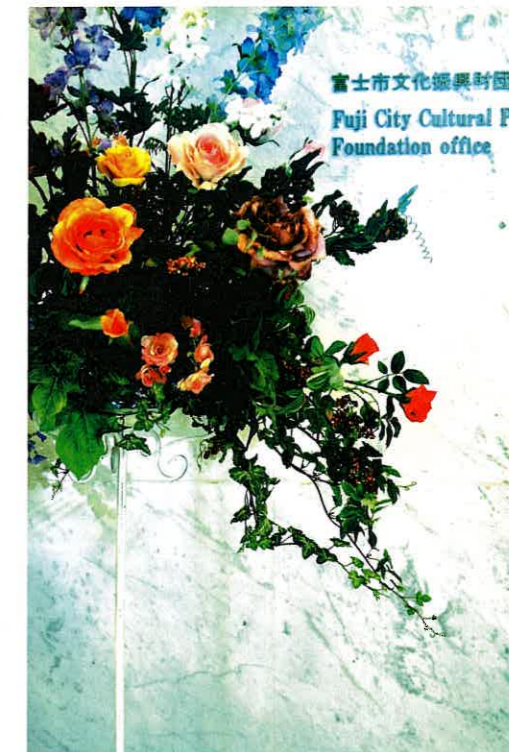
●Interview
k u m i k o

profile

- 1978年 「世界歌謡祭」に日本代表の一人として参加。
- 1982年 シャンソニエの老舗・銀座「銀巴里」のオーディションに合格。プロとしての活動をスタートし、渋谷「ジャンジャン」などにも出演する。その後、ジャンソンの枠にとどまらず、ジャンルを問わない唄い手として活動。“音楽をあきらめていた大人たち”から支持を得る。
- 1987年 “高橋久美子”の名前で、デビュー・ミニアルバム「POKKOWA PA?」をSound Worldより、リリース。プロデュースには溝口 肇氏を起用。
- 1994年 “高橋クミコ”として、イースタンゲイルより6曲入りミニアルバム「MACHI」をリリース。
- 1996年 アルバム「世紀末の円舞曲(ワルツ)」を東芝EMIより、リリース。
- 1999年 作詞家・松本 隆氏と出会う。
- 2000年6月 スペイン、カタロニアサーキットで行われた世界2輪グランプリ・カタロニア大会に招待される。松本 隆氏作詞による、カタロニア民謡「鳥の歌」を唄う。
- 8月 松本 隆氏・鈴木慶一氏 共同プロデュースによる、シングル「我侬」(テレビ朝日系水曜ミステリー「京都潜入捜査官」主題歌)をリリース。
- 10月 アルバム「AURA アウラ」を発売。“大人のポップス”を提唱し、話題となる。
- 2001年 人気CM、ハウス・クリームシチュー・ミクス イメージ曲「お帰りなさい」をリリース。7月より、avexグループ、新レーベルavex ioに所属。
- 2002年11月20日 avex ioより、ニューアルバム「愛の讃歌」、シングル「幽霊・おすれな歌 同題タイ映画メインテーマカバー曲」を同時リリース。
アルバムに収録されている「わが麗しき恋物語」がAMラジオで連日流され、「聴くものすべてが涙する歌」として大きな反響を呼び、翌2003年2月5日急遽シングルカット。ジャンソンでは異例の大ヒットとなり、注目を集める。
- 2003年9月25日 一年ぶりのニューアルバム「愛しかないとき」リリース。
全国5大都市(東京・福岡・札幌・名古屋・大阪)にて、アルバム発売記念コンサートを行う。
- 10月10日 初エッセイ集「ヘコタレナイ 人生はまわり道したっていいじゃない」を主婦と生活社より出版。
- 11月22日 松田聖子の「珊瑚色の地球」で知られる、作詞・松本 隆、作曲・平井夏美の二人が久しぶりにクミコのために書き下ろした、シングル「さいごの抱擁」をリリース。ラジオ番組「60歳のラブレター」のエンディングテーマとして使用された。
- 2004年7月28日 昭和を代表するジャンソン歌手「越路吹雪」の作品を集めたアルバム「イカルの星 越路吹雪」を唄う」をリリース。
11月3日には、作曲:三木たかし、作詞:竜 和歌子による書き下ろし「わたしは青空」をリリース。(カップリングには作曲:来生たかお、作詞:来生えつこによる書き下ろし「11-21」を収録。)理不尽な出来事・事件により命が奪われる時代、混沌とする世の中へ“生命(いのち)の歌”として話題に。
- 2005年4月6日 04年11月3日の渋谷・Bunkamura シアターコクーンでのライブの模様を、CDとDVDでリリース。
4月30日 赤坂・サントリーホールにてNHK交響楽団のピックアップメンバーと共演。
11月16日 一年ぶりとなるニューシングル「さよならを 私から」(c/w)「ほほえみの唄」をリリース。
「さよならを 私から」は、作詞:竜 和歌子、作曲:萩原慎太郎・佐々木聡作による書き下ろし。これまで人間の生と死を睨ってきたクミコが“大人だからできる恋”をテーマに、生きることの原点である“恋”の歌に挑戦。さよならを女性から切り出すというテーマが熟年離婚のイメージとも重なり、新聞などで紹介され話題に。USENのJ-POPチャートでも上位にランキングされるなど、注目を集める。そして「ほほえみの唄」は、NHK総合「発見 ふるさとの宝」(火曜日 23:15~23:45 2005年3月29日~2006年3月14日放送)エンディングテーマ。視聴者からの反響も多く、待望のリリースとなる。また11月21日には、渋谷・Bunkamura シアターコクーンにてコンサートを開催。
- 2006年3月8日 初のベストアルバム「クミコ・ベスト わが麗しき恋物語」をリリース。宮崎 駿監督作品「ハウルの動く城」(作曲:久石 譲)メインテーマ曲「人生のメリーゴーランド」に竜 和歌子が詞を書き下ろし、クミコのためのボーカル曲として収録された。
2006年4月からは「クミコ コンサート2006 ~恋せよ 大人たち~」ツアーを全国で開催。(福岡・大阪・東京・札幌・新潟・静岡・仙台・名古屋)
- 2007年2月21日 デビュー25周年記念アルバムを発表予定。
70年代の名曲をカバーし、今回クミコのために書き下ろした中島みゆきの新曲も収録される。
- 2007年3月21日 東京国際フォーラム・ホールCにて、アルバム発売記念コンサートを行う。
東京を皮切りに全国ツアーを展開。

http://www.puerta-ds.com/kumiko/

ロゼシアターの新年度自主事業、スタートをかざるのは
ジャンソンのクミコさんです。
現在、SBSテレビ「Soleいいね!」にゲストコメンテーターで出演中。
番組出演後に静岡新聞社・静岡放送 本社でお話をうかがいました。



ロゼの片隅
katasumi

#12
百花繚乱(ひゃっかりょうらん)

ロゼシアターには、絵やオブジェ、タペストリーなどが様々な場所に展示され、訪れる人々の目を楽しませてくれます。それらの多くは、開館時から常設されている作品ですが、最近新たに素敵なフラワーアートが、1階事務所入り口に設置されました。この作品は、富士市フラワーデザイナー研究連盟によりご提供いただいたもので、同研究連盟会長の古郡博子さんによると「市民一人ひとりが手を取りあい、ロゼシアターを盛り上げていこう」というイメージで創作されたそうです。

文化の花色鮮やかに咲き乱れ
ロゼシアター百花繚乱

Contents ●

- ロゼの片隅 #12 百花繚乱(ひゃっかりょうらん) 1
- INTERVIEW クミコ 2
座右の銘は「柔らかなココロ」
- The 舞台裏 市制40周年記念ミュージカル 5
「Memory~ロゼシアターのクリスマス★キャロル~」
第3弾 発表公演
- EVENT CALENDAR 2007(平成18年度・平成19年度公演情報)
● 情報先取り! 魅力あるイベント満載! 7
- 特集 粋な大人時間 9
市民参加によるイベント特集
◆夏休みロゼこどもフェスティバル
●トレインフェスタ
●ホール探検隊
◆ロゼpresents 第16回星空のコンサート
- ピックアップアーティスト 10
◇MAYコンサートスペシャル「華」実行委員会
- 青島広志連載 ~作曲家とその妻たち 第4回~ 11
「メンデルスゾーン フィーリスとファニー」
- Flash Back 13
■ロゼシアター主催(共催)事業 2006年9月~2006年11月
- INFORMATION FROM ROSÉ THEATRE 14
◆ロゼシアター公募展 新進アーティスト作品展 作品募集
◆会館利用者600万人達成
◆「まちの駅」開駅宣言!!
◆~ふじ少年少女芸術劇場~ 小学校学校コンサート「鬼太鼓座」公演
◆「ロゼサポーターズ」発足!! ◆プレゼントクイズ *編集後記*



以前、静岡に住んでいたことがあるそうですね。小学校三年生から中学二年生までの思春期を藤枝市ですごしました。ピアノを習うために静岡市まで通っていたのですが、実はレッスンへは行かず、静岡駅の木の下で、時間ぐらいつと座って、家に帰りました。うまく弾けなかったし、先生も厳しくて行きたくなくなって、やめてしまいました。そんなほろ苦い思い出があります。あとになって弾き語りで生計をた

もう最低ですよ。父の遺産だと思いません。(笑)

シャランソンを選んだきっかけは何でしょうか。私は自分のことを「なんちゃってシャランソン歌手」だと思っています。そもそも、世界歌謡祭の予選の最後で落ちてしまっただけで人生浪人になってしまったのですが、夢は捨て切れなくて、自分で作った歌、日本語でつづられたドラマのような歌を歌える場所がどこかにないかと探していました。そんな

人生って計画立てても思うようにはいきませんよ。でも《志》だけはあつたので何とか落ちないで今だに歩いていられるのだと思います。

「大人の音楽」というイメージのあるシャランソンですが、クミコさんの公演を機に、若い世代にもアピールしたいと思うのですが…富士の公演では二月に発売予定のアルバムの曲が入っています。このアルバムには七〇年代の歌が入っていて、団塊世代を対象としていますが、今聞いてもとても新しく感じます。「言わうと」「人が人を想うときの青春の切なさみたいなもの」でしょうか。いろんな愛の形、切ない想いの歌を集めてあります。コンサートでは七〇年代の日本の歌とシャランソンとオリジナル曲を歌います。シャランソンを好きな方にも、聞いたことのない方にもわかりやすく楽しんでいただきたいと思っています。そこで歌われる

とあります。公演後に「心がこんなに動いちゃって、切なくて、涙が出ちゃった」と言ってくださるように、私は一生懸命歌いますし、それが音楽の役目だと思っと思っています。

松本隆さんとの出会いはクミコさんのキャリアの中でもキーポイントになっていると思われませんが、どのようなきっかけで出会ったのですか。

私が四五歳のときでした。それまで、声帯をやられたり手術をしたりと、私自身「沈没」寸前でした。一匹狼のようにやってきたものですから、誰も助けてくれないし、すぐのべき先生もいない、もうだめかなと思っていた矢先、長年の知り合いだったプロデューサーの方が、最後に一枚CDを出そうと声をかけてくれました。前回のCDよりは売れるように今回はプロデューサーを立てようということになって、何人かお名前が挙がった中のお一人が松本さんでした。松本さんは中でも一番遠い存在だと思っていました。というのは、当時松田聖子さんの一連のヒット曲を作詞されていた、とても都会的な歌を作る方で、それに聖子ちゃんよりは私より若いし、もう全然違うじゃん…いまさら…という感じでした。松本さんが私の歌に興味を示すことはないと思っていたのですが、そのプロデューサーがもは試しとCDを送ってしまいました。あろうことか、そのCDの一曲目というのが、松本さんが以前プロデュースしたあがた森魚さんのアルバムの中の一曲だったため、耳をそばだてて聞いていただいたようです。そしてお会いすることになって、ライブに来ていただくことになりました。そのライブ会場が偶然にも松本さんのお宅の近所で、サンダル履き感覚でいらしたんですよ。松本さんは、言葉を大切に歌っていることをとても評価してくださって「あなたの歌には言葉があるの、僕の歌の詩はきつとクミコさんに合うと思う、ぜひプロデュースしたい」と、話がトントンと進み、沈没寸前だった

座右の銘は「柔らかいココロ」。

ふつと肩の力をぬいて、ありのままの自分をさらけ出したほうが何事もうまくいくのではないのでしょうか。

たこともあるので、どこで役に立つかわかりません。今静岡でお仕事させていただいていることも、なんか縁を感じますね。第三のふるさとなるでしょうか。東京の次に長く住んでいたところですから、いろんな思い出がありすぎるくらいです。

時「銀巴里」のオーディションのことを知りました。「サン・トワマミー」しか歌えなかつたけれど、オリジナル曲との二曲でオーディションを受けました。シャランソンの殿堂である「銀巴里」、そんなことは知らずに入ってしまった。受かったはいいものの、ステージをこなすには最低十曲はないとだめなのです。かき集めても私には十曲もないので、それからは「自転車操業シャランソン歌手」のごとく大変でした。しだいに好きな歌だけを歌うという形になっていったので、きつちりとしたジャンル分けができなくなっていました。いつか、ジャンルにはこだわらないと言えるときは…ということだわらないと言えるときは…ということだわらないと言えるときは…

歌というのは、片思いだったり幸せな歌など、男が女を、女が男を、親子の関係、形や方法は様々だけれども「人が人を想う気持ち」なのです。これはすべての人に通じることで、どの国でもどの世代でも通じる想いが込められていると思います。ですから、来てくださる方はどなたでも「あつ、わかる！」と思っただけのコンサートです。また、言葉をとても大事にしているの、美しい日本語で、物語を提示してさし上げたいと思っています。お客様が、「昔のあの恋のことを思い出しちゃった」「この言葉をもっと言っておけよう」「もつとやさしくしてあげよう」など、いろんな風に心を揺り動かしてくださればよいな

素顔のクミコさんはどんな人ですか。よく物を落としてしまいます。私が座ったところは物が落ちていたので、すぐわかって友達に言われます。最近では洗面台に化粧瓶を落として、ビビが入ってしまった大変なことになりました。食べ物も口に入る前にどうしてか落ちてしまうのです…。

船が急に一気に浮き上がったようでした。そして、全部の曲に詩を書いていたいたCDを出しました。松本さんは今まで取材やインタビュー、TVにも滅多に出なかつたのに、その時はあちこちに出るようになって、その度に「今、クミコのプロデュースをしている」と私のことを宣伝してくれました。そのおかげで今に至っているわけです。本当にあの時大きな力が働かなかつたら、今の私はないと思いますね。

同じ国で、ともに時間を過ごすことって奇跡に近いことですよ。この瞬間を嫌なことに変えるなんてもったいないですよ。同じように生きていくのだから、幸せだなんて思いながら生きていくほうがいいですよ。

二月のアルバム、そして五月のコンサートがとても楽しみです。ありがとうございます。

取材文／川口直美 撮影／廣瀬貴礼

座右の銘「柔らかいココロ」とは…。体が硬いと、腱が切れたり筋肉がやられたり怪我しやすいですよ。何かに対抗されるともろいものです。ココロも同じで、嫌なことがあつて硬いココロで接すると衝突してしまいます。柔らかく柔軟に受け止めると、たとえ相手が硬くても衝突は避けられるし、嫌いだつた人のいい面が見つかったりするかもしれない。やわらかいに越したことはありません。とにかくいろいろなことが吸収しやすくなります。こちらが柔らかくすると、連鎖して相手も少しは柔らかくなると思いますよ。人間関係のぎくしゃく加減がかなり緩和されると思います。ふつと肩の力をぬいて、ありのままの自分をさらけ出したほうが何事もうまくいくのではないのでしょうか。

最後に、公演を待ち望んでいるファンの皆さんへメッセージをお願いします。

2007年2月21日 ニューアルバム発売予定!
2007年に60歳を迎える団塊世代へエールをこめて、クミコが70年代を歌います。トータル・コンセプトメーカーに残間里江子、楽曲選者に筑紫哲也、イッセー尾形、江國香織など様々な分野の第1人者が勢ぞろい。クミコのために書き下ろした中島みゆきの新曲も収録。話題の1枚となることでしょう。

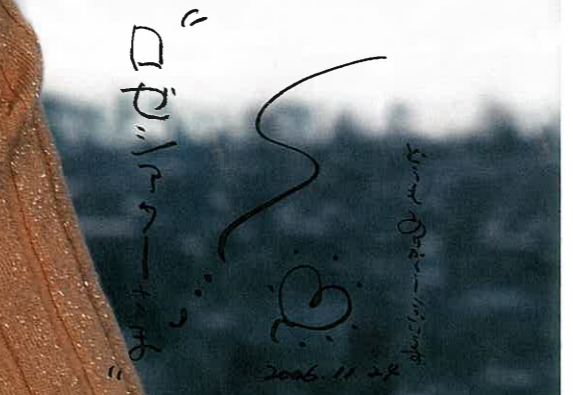
公演情報

**クミコ デビュー25周年記念アルバム
「[ノジュール]~70年代の歌たち」
発売記念コンサート**

平成19年5月26日(土)
ロゼシアター 中ホール
開場/17:30 開演/18:00
均一5,000円(全席指定・税込)

チケット発売
平成19年1月27日(土)9:00~ ロゼ会員
1月28日(日)9:00~ 一般

お問い合わせ
ロゼ・チケットセンター 0545-60-2500



EVENT CALENDAR 2007

3 MARCH

3/3 土曜日
3/11 日曜日

**ロゼシアター公募展
 新進アーティスト作品展V
 -Art Generation 2007-**
 展示室
 〈同時開催〉前回優秀賞受賞
市場勇太作品展
 開場/10:00~19:00 ※最終日は17:00まで
 ●入場料 無料



3/7 水曜日
ふじ寄席 桂三枝・春風亭小朝 名人会
 大ホール
 開場/18:00 開演/18:30
 入場料(全席指定・税込)
 1階席/4,500円 2階席/4,000円
 チケット完売



3/9 金曜日
**クラシック音楽が紡ぐステキな世界
 ~大澤徹訓レクチャーコンサート~**
 出演:フジリステン
 スペシャルゲスト:大澤美紀(ピアノ)
 中ホール
 開場/18:00 開演/18:30
 入場料(全席自由・税込)
 均一/1,500円
 チケット好評発売中

〈プログラム〉
 モーツァルト/2台のピアノのためのソナタ
 ベートーヴェン/ピアノ・ソナタ第8番「悲愴」第2楽章
 モーツァルト/コシ・ファン・トゥッテ「ドラペラのアリア」
 サラサーテ/カルメン幻想曲
 大澤徹訓/ロンド・トッカータ ほか

3/11 日曜日
ミュージカル それいけ!アンパンマン
 大ホール
 1回目:開場/11:30 開演/12:00
 2回目:開場/15:00 開演/15:30
 入場料(全席指定・税込)
 前売り/2,300円 当日/2,500円
 ※会員割引なし
 チケット発売日 1月20日・21日(詳細は1月参照)



3/14 水曜日
**広瀬香美コンサートツアー2007
 「GIFT+ ♪ 幸せは冬にやってくる♪」**
 大ホール
 開場/18:30 開演/19:00
 入場料(全席指定・税込) 均一/6,825円
 チケット好評発売中

3/21 水曜日
**青島広志氏の
 フレッシュ・リフレッシュ音楽会
 ~東京ニューフィルと三人の歌い手を迎えて~**
 指揮・ピアノ・編曲・お話し:青島広志
 演奏:東京ニューフィルハーモニック管弦楽団
 ソプラノ:赤星啓子 テノール:小野勉、杉浦誠
 大ホール
 開場/17:30 開演/18:00
 入場料(全席指定・税込)
 一般/3,000円 学生/1,000円
 チケット好評発売中



〈プログラム〉
 プラームス/大学祝典序曲
 ドニゼッティ/「連隊の娘」より 友よ、何と楽しい日
 ブッチェーニ/「トゥーランドット」より 誰も寝てはならぬ
 ロンバード/「学生王子」より セレナーデ
 レハール/「メリー・ウイドウ」より 唇は黙っていても ほか



※ロゼシアター主催公演のチケット購入方法については7ページをご覧ください。
 ※表示価格は全て消費税が含まれております。

2 FEBRUARY

2/4 日曜日
**ロゼシアター・オリジナルコンサート
 仲道郁代「音楽の扉」
 ~ピアノで巡る音と街の物語~
 最終回「音楽の都ウィーン~ドイツ・オーストリア編」**
 ピアノ・お話し:仲道郁代
 企画・構成・シナリオ:浦久俊彦
 中ホール
 開場/13:30 開演/14:00
 入場料(全席指定・税込)
 一般/3,000円 学生/1,500円
 親子ペア券/4,000円(会員割引なし)
 チケット好評発売中



〈プログラム〉
 モーツァルト/きらきら星変奏曲
 ベートーヴェン/エリーゼのために
 ピアノ・ソナタ第14番「月光」
 ピアノ・ソナタ第23番「熱情」 ほか

2/10 土曜日
**おかあさんといっしょ
 ぐ〜チョコランタン**
 大ホール
 1回目 開場/13:00 開演/13:30
 2回目 開場/15:30 開演/16:00
 入場料(全席指定・税込)
 均一/2,000円(会員割引なし)
 チケット完売



2/17 土曜日
2/18 日曜日

チケット発売日 怪談 牡丹燈籠
会員(9:00~)
 (電話&窓口)
一般(9:00~)
 (電話&窓口)

出演:池内淳子
 前田吟
 坂口良子
 川野太郎 ほか

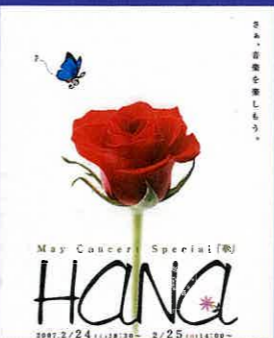
中ホール
 公演日/平成19年6月9日(土)
 1回目:開場/12:30 開演/13:00
 2回目:開場/17:00 開演/17:30
 入場料(全席指定・税込)
 1階席/5,000円
 2階席/4,000円



2/24 土曜日
2/25 日曜日

MAYコンサートスペシャル「華」
 中ホール
 開場/18:00 開演/18:30
 入場料(全席自由・税込)
 一般/1,000円 学生(小・中・高)/500円
 チケット好評発売中

〈プログラム〉
 ■24日
 ヴェルディ/ああ、そは彼の人か~花から花へ~(オペラ「椿姫」より)
 ショパン/革命
 ベートーヴェン/ソナタOp.27-1・2・3楽章
 朗読とピアノ ほか
 ■25日
 ブーランク/ピアノ、オーボエとファゴットの ための三重奏曲
 アンデルセン/アンプロムプチュ
 葉加瀬太郎/情熱大陸
 ユータン/ファンタジア アパショナータ ほか



※曲目は変更になる場合がございます。ご了承下さい。

1 JANUARY

1/20 土曜日
1/21 日曜日

チケット発売日 ミュージカル それいけ!アンパンマン
会員(10:00~)
 (電話&窓口)
一般(10:00~)
 (電話&窓口)

大ホール
 公演日/平成19年3月11日(日)
 1回目:開場/11:30 開演/12:00
 2回目:開場/15:00 開演/15:30
 入場料(全席指定・税込)
 前売り/2,300円
 当日/2,500円
 ※会員割引なし
 ※3歳以上有料
 ※2歳以下は保護者1名につき1名ひざ上鑑賞可。
 (ただしお席が必要なお子様は有料。)



1/21 日曜日
錦織健 魅惑のテノール・リサイタル
“蘇るあの感動「トゥーランドット」の熱唱!オペラ界の貴公子、待望のリサイタル”
 ピアノ:多田聡子
 中ホール 開場/18:00 開演/18:30
 ●入場料(全席指定・税込) 均一/4,000円
 チケット完売



〈プログラム〉
 大中寅二/椰子の実
 山田耕筰/赤とんぼ、からたちの花
 滝廉太郎/荒城の月
 寺島尚彦/さとうきび畑
 喜納昌吉/花
 ロッシーニ/「セビリアの理髪師」より“空はほほえみ”“私の名を知りたければ”
 ブッチェーニ/「トゥーランドット」より“誰も寝てはならぬ” ほか

1/27 土曜日
1/28 日曜日

チケット発売日 ぐみこ デビュー25周年記念アルバム
“「ノジュール」~70年代の歌たち”
発売記念コンサート
会員(9:00~)
 (電話&窓口)
一般(9:00~)
 (電話&窓口)

中ホール
 公演日/平成19年5月26日(土)
 開場/17:30 開演/18:00
 入場料(全席指定・税込)
 均一/5,000円



※巻頭インタビュー記事をご覧ください。

ロゼシアター主催公演のチケット購入方法について

- ロゼ・チケットセンターで直接購入(9:00~19:00)
 ロゼシアター1階のロゼ・チケットセンターへどうぞ。座席表を見て空いているお席の中から好きな席が選べます。
- ロゼ・チケットセンター電話受付で購入(9:00~19:00)
 ロゼ・チケットセンター0545-60-2500にお電話で受付(座席番号の指定はできません)のうえ、以下の方法でチケットをお受け取り。
 [1] 直接来店...ロゼ・チケットセンターでチケット代金とお引替ください。
 [2] 郵送...チケット代金を郵便振替もしくは銀行振込でご入金(チケット代金+チケット送料)いただき、ロゼ・チケットセンターでご入金を確認出来次第チケットをご郵送いたします。

郵便振替: 郵便振替口座 00840-0-130374
 銀行振込: 富士信用金庫本店 普通預金口座 0146337 ※いずれもロゼ・チケットセンターまで。

- プレイガイドで直接購入※取り扱いのない公演もございます。下記のプレイガイドでご購入ください。
 ■マルサン書店 沼津仲見世店 TEL.055-963-0350 10:00~20:00
 ■カフェ書店 富士宮宮原店 TEL.0544-24-7160 9:00~24:00
 ■ユニオンテラス富士宮店サービスカウンター TEL.0544-24-6777(代) 10:00~21:00

●チケットぴあで購入

電話で予約購入 10:00~23:30
0570-02-9999 (音声認識予約)
 スポーツ専用 0570-02-9977
 演劇専用 0570-02-9988
 クラジック専用 0570-02-9990
 問合せ専用 0570-02-9111

各店舗で直接購入
FamilyMart 10:00~23:30 ※発売初日は12:00~
ローソン 10:00~23:30 ※発売初日は12:00~
セブンイレブン 10:00~各店営業終了時間まで

直接お店で購入

チケット



ロゼ・トレインフェスタ
2006～電車でGO!～



夏休みの「ど真ん中」、ロゼシアターのギャラリーでは朝から子どもたちの歓声がこだましました。昨年スタートした「ロゼ・トレインフェスタ」。子どもたちにロゼシアターの楽しさと身近な会館造りを目指し実施しましたが、これが大盛況。再開のリクエストはかきまくるなど定期開催の運びとなりました。会場となったギャラリーでは1/80・HOゲージレイアウトを始め1/160・Nゲージさらに大型Oゲージが会場狭しと走り回りました。懐かしの寝台特急、近郊通勤電車、超編成貨物列車、フル編成の新幹線「こだま」「ひかり」「のぞみ」。子どもはもちろんお父さんも固唾を飲む大迫力でした。JR新幹線「新富士駅」の模型のまわりには「岳南鉄道のパンorama大ビジョン」、レールを走るバス「DMVコーナー」、旅のひととき一服コーナーでは「山大園新茶サービス」や「レストランロゼ無料ドリンク」が設けられ、開催期間中連日多くの家族連れでにぎわいました。来年はますますバージョンアップしますので、乞うご期待!



〈協賛各社〉
●わが街の新交通システムDMV(協賛:富士市都市計画課)
●運転台からのパンorama映像(協賛:岳南鉄道)
●新茶のお誘い(協賛:山大園)
●無料ドリンク(協賛:レストランロゼ)

市民参加によるイベント特集

の参加や企画・協賛などによるイベントも多く開催されています。いただいた3つのイベントをピックアップしてお届けします。

夏休みロゼこどもフェスティバル

8/13日

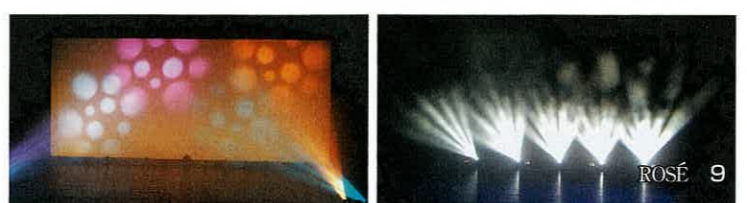
ロゼシアターホール探検隊



【1回目】10:00～【2回目】14:30～市内小中学生とその保護者を対象として、普段はめったに見る機会のないロゼシアターの舞台裏を見学するツアー「ロゼシアターホール探検隊」を開催しました。舞台裏を知ることでもう少し音楽や演劇に興味をもってもらいたい、あるいは鑑賞する際により楽しんでもらいたいと企画したものです。大ホールからスタートし、オーケストラピット(バレエやオペラ公演などでオーケストラが演奏するスペース)や奈落(舞台上で使用する大道具・譜面台などを保管しておく場所)、音響室、調光室などを見学しました。約30名の参加者たちは、職員の説明を受けながら実際に音響装置や照明装置にもおそろおそろ触れて操作していました。迷子になりそうな狭くて暗い複雑な舞台裏を歩いて回り、舞台機構を実際に操作し驚きの声をあげ楽しんでいました。そして、見学ツアーの最後には中ホールで「ライティングショー」を楽しんでもらいました。今回残念ながら参加できなかった方、興味をもたれた方は来年も開催する予定ですのでどうぞご参加ください。

〈参加した子供たちの感想〉

- なかなか行けない場所に行けたのがすごくよかった。
- 照明をやるのはとても大変で、思ったところに明かりを当てられなかった。
- いろいろな機械があって楽しかった。ライトをつけたり、体験できてよかった。
- 最後の演奏が面白かった。モワモワしてきれいだった。ロゼシアターのいろいろな装置のことがわかった。
- 舞台裏の知らないところを詳しく教えてもらってよかった。最後のライトと音のショーは迫力があって楽しかった。



市民参加によるイベント特集

ロゼシアターでは、市民の皆さん。今回は、その中から大好評をい

9/16日 ロゼ presents
★第16回 星空のコンサート★



富士中央公園野外ステージ
開場/18:30 開演/19:00
プログラム
●ジャズ演奏:中嶋美乃(サクソ)、三改木多恵子(ピアノ)
●ギタレレ漫談:びろき ●落語:三遊亭金八
●「Memory」～ロゼシアターのクリスマス★キャロル～よりダイジェスト

夏が終わり、心地よい秋風が吹き始めるこの時期、毎年恒例の星空のコンサートが中央公園野外ステージで行われました。第16回目の開催となる今年にはロゼシアターが主催、コンサートの企画・運営・実施にも積極的に加わることに



なり、リニューアルした内容となりました。野外ステージということでも心配された天気にも恵まれ、最高の自然環境の中での開催となりました。外灯が灯り始める頃になると、開演を心待ちにしたお客様の長い列ができて始め、毎年このイベントを楽しみにしているという常連の市民の姿も見られました。コンサートは、軽快なジャズ演奏から始まりギタレレ漫談、落語で会場は大爆笑、そして休憩をはさんで市民ミュージカル「Memory」のダイジェスト版と続き、最後は出演者全員で「上を向いてあるこう」を大合唱し、大勢のお客様からの拍手の余韻を惜しみながらの終演となりました。



〈アンケート〉

- 見上げれば星が雲間からのぞいており何よりの一夜でした。毎年継続されますことをお祈りいたします。
- 野外コンサート、いいですね。虫の音と聴く音楽は最高です。
- バラエティーに富み、それぞれ皆様競演して下さり楽しい一夜を過ごすことができありがとうございます。来年も楽しみにしています。
- 雰囲気最高!音楽も笑いも良かった。
- ホールでの公演とは一味違って良かった。
- 野外での空気がとても気持ちよかったです。
- 笑い、拍手、イイネ!楽しい企画をいつもありがとうございます。
- 今年で3回目。楽しいひとときでした。
- 初めて観たミュージカル、若者の迫力ある歌唱・演技に感動した。
- 毎回よいが今回は特に面白かった。
- ドリンクサービスがうれしい。●とても心のこもったコンサートでした。

主催/財)富士市文化振興財団、富士市、富士市教育委員会
主管/星空のコンサート実行委員会
後援/富士市文化連盟、みどりいっばい富士市民の会、VIC TOKAIコミュニティチャンネル



Pick up artist

MAYコンサート

トスペシャルの出演者でもあり実行委員として運営に携わっていただく方々に、今回の抱負をお話いただきました。

スペシャルは一般向けのわかり易い曲、楽しいプログラムにしたいです。MAYコンサートは、音楽大学を出て独り立ちする初めのコンサート、スタートラインという印象があります。市内にもたくさん演奏家の方がいらつしゃいます。演奏者が続いている、さらに質を向上させたいので、ぜひ続けていきたいです。市内の音楽家が知り合つて、お互い切磋琢磨できるすばらしい機会です。演奏家のレベルアップにもつながるので、継続して開催していただきたいです。



MAYコンサートスペシャル「華」のお知らせ

実行委員
茅原初子(オブザーバー)
尾崎文子(1993年出演)
鈴木智子(1994年出演)
山口和香(1995年出演)
加藤聡子(2002年出演)
福沢理紗(2002年出演)
西川絢子(2002年出演)
梶田真弓(2003年出演)

市出身の新人音楽家たちによるフレッシュなコンサートとして市民の間でもうお馴染み。今年度で既に十五回を数えこれまでの出演者は四十三名にものぼります。今年度は、富士市制四十周年の記念年にあたることから、MAYコンサートスペシャル「華」を開催致します。開館五周年記念平成十五年、開館十周年記念(平成十五年)に開催され、今回は三回目となります。毎回、演奏家たちの成長ぶりが披露され、趣向を凝らしたプログラムがお楽しみいただけます。今回のMAYコンサ

音楽活動の発表の場を与えていただける事に感謝しています。いろいろな方と触れ合える機会なので、楽しいプログラムにしたいと思っています。やるからには、自分達が楽しいのも一番ですが、お客様に(本当に)来て良かったと思わせたかったです。自己満足にならないように、小ホールでなく中ホールという大きな舞台なので、伸び伸びと楽しんでほしいです。

MAYコンサートは、音楽大学等で学んだことを発表する場なので、曲目も少し堅苦しい感じもありますが、MAYコンサート



MAYコンサートスペシャル「華」のお知らせ

●会場/ロゼシアター 中ホール
●日時/平成19年2月24日(土) 開場18:00 開演18:30
平成19年2月25日(日) 開場13:30 開演14:00
●入場料(全席自由)
一般1,000円、学生(小・中・高)500円
*未就学児の入場はできません。
★チケット好評発売中!!

作曲家とその書たち

メンデルスゾーンとフアニー

第4回

イラスト：文／青島広志

妻の話ではなく、姉の話です。作曲家は独身主義者が多いものですから、必ずしも全員、妻の話ができるというものではありません。それに換わる愛の対象が恋人という例も、かなりの数に登ります。メンデルスゾーン・フイリクスは、バルトルディの場合、それが四歳年上の姉に向けられたのでした。

による歌曲や、ゲーテの好むパッサリの曲を演奏して返礼としました。彼女はすでに13歳で、「平均律クラヴィーア曲集」を全曲暗譜していたのです。

ますが、とくに弟が家から放れてからはフアニーがすべての指揮を担当したので、女性指揮者はその歴史の初めから存在したことになります。

かのモーツァルトの姉、ナンネルと比べられるほどの楽才を幼時期から示したフアニーでしたが、父親のアブラハム自身は音楽家ではなく、その名が示すようにユダヤ系の銀行家でした。ベルリンで開業した折、ドイツでの生活に溶け込むため、妻の兄の姓であるバルトルディをもらって、二重姓を名乗ることになったのです。この父と母であるレーアは、四人の子供たちに、王侯貴族と同じような教育を施しました。そのために彼らは、異邦人として後ろ指をさされることなく振舞えるようになり、語学にも秀で、シエイクスピア劇を原語で上演したり、とくにフアニーとメンデルスゾーンは、ピアノと作曲にその能力を発揮するようになります。幼少期にピアノの腕前が一番だったのがフアニーであることは当然として、13歳のときからツェルターに師事して学んだ作曲も、先に上達したのは彼女だったのです。

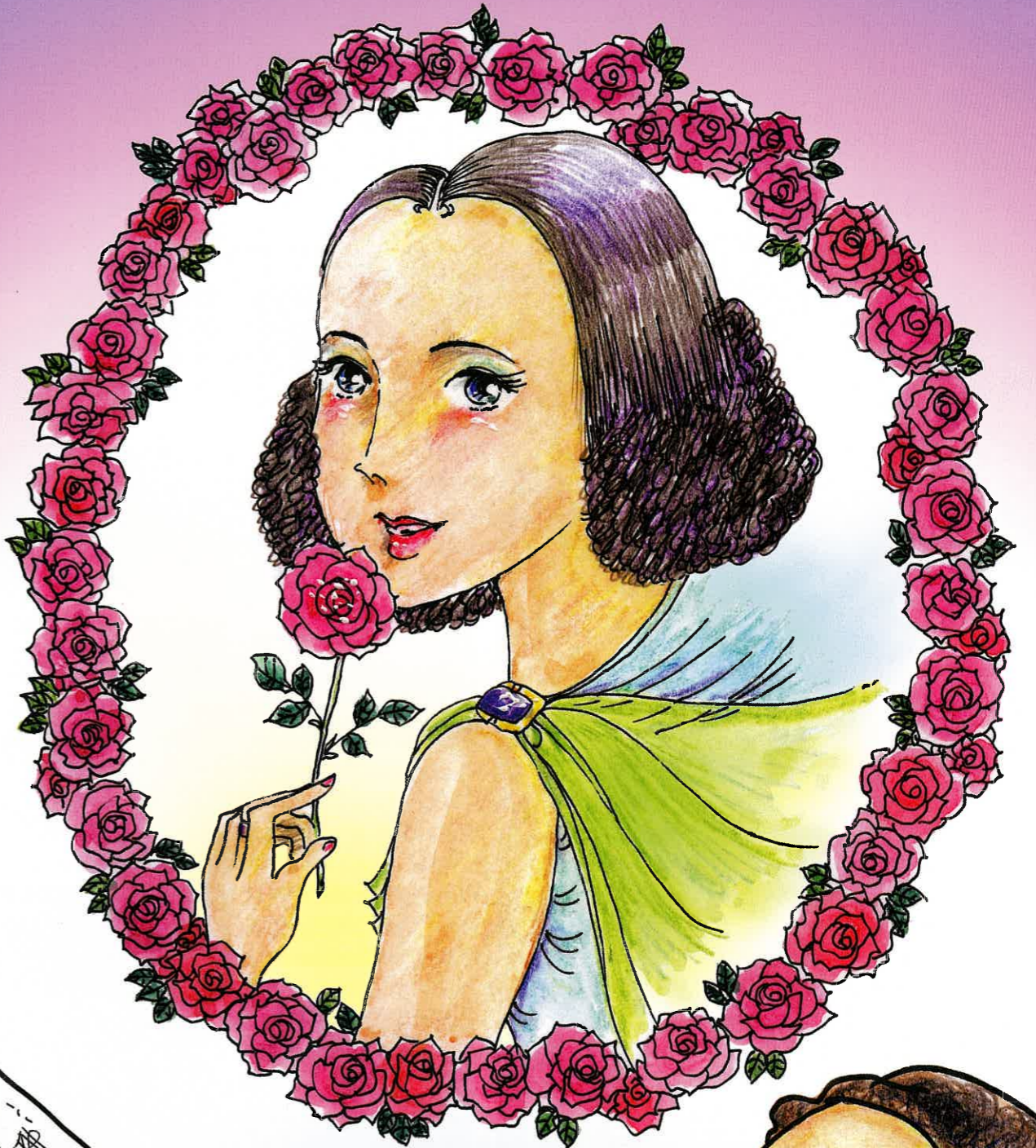
そんな姉を誇らし気に見ていた弟とは反対に、両親はフアニーのそうした創作活動を、決して良いものとは考えていませんでした。つまり、女性演奏家として立つのは許されても、無から有を作り出すという創作行為は、神にも匹敵するとして、男性にしか許されないというのです。そして音楽家としての活動も、良家の子女としてはそれで収入を得るのではなく、あくまでも趣味として行なうべきだというのでした。この考え方は19世紀の前半において、全く一般的であり、それが音楽界への女性の進出をほとんど阻んで、そのために、逆にサロン文化を成熟させる原因ともなりました。

しかし、夫の協力により一八四六年の7月から合唱曲・歌曲・ピアノ曲の出版が実現し、その全ては夫の美しい挿絵で彩られています。このままで行けば、最も多作の女性作曲家となるのも夢ではないと思われた翌年の5月14日、フアニーは日曜音楽会上演する弟のコンサート「最初のワルブルグスの夜」の稽古中に、この歳の美しい女性作曲家は脳出血で急逝します。そして何となく、弟もその後を追うように半年後、同じ原因で世を去ります。そしてフイリクスがこの間に発表した作品は、「弦楽四重奏曲への短調」一曲のみだったのでした。

フイリクスが11歳の折り、ツェルターはゲーテの前で演奏させましたが、彼が更に所望されて姉の歌曲を紹介したのに感動した詩人は、新しい詩をフアニーに贈ります。その二年後、フアニー自身もワイマールにゲーテを訪ねて、その詩

身の新作を発表し、二人は独奏や指揮も勤めています。メンデルスゾーンは、指揮棒を用いた指揮者の第一世代に当たり

居に移り、数百名を収容できる音楽ホールで、一週おきの日曜日に音楽会を催すことにしたのです。フアニー姉弟が中心となって企画をし、古典の作品や彼ら自身の新作を発表し、二人は独奏や指揮も勤めています。メンデルスゾーンは、指揮棒を用いた指揮者の第一世代に当たり



ブルーアイランド氏のフレッシュ・リフレッシュ音楽会

—東京ニューフィルと三人の歌手を迎えて若々しさあふれる演奏と曲目が満載されています—

平成19年3月21日(水・祝) 17:30開場 18:00開演
ロゼシアター(大ホール) ■一般3,000円 ■学生1,000円

チケット発売中
曲目 プラームス/大学祝典序曲 Op.80
ドニゼッティ/「リタ」より 私は楽しい
ドニゼッティ/「連隊の娘」より 友よ、何と楽しい日
ヨハン＝シュトラウスII/「春の声」 Op.410
モーツァルト/「ああお母さま、あなたに申し上げましょう」 K.V.265(300e)
プッチーニ/「トゥーランドット」より 誰も寝てはならぬ
カプア/私の太陽よ(二重唱版)
ヨハン＝シュトラウスII/「こうもり」より 公爵様、あなたのようなお方は
ロンバグ/「学生王子」より セレナーデ
レハール/「メリー・ウィドウ」より 唇は黙っていても

出演 青島広志(指揮、ピアノ、編曲、お話)
赤星啓子(ソプラノ)
小野 勉(テノール)
杉浦 誠(テノール・富士市出身)
東京ニューフィルハーモニック管弦楽団

●ロゼシアターからのお知らせ

ART GENERATION 新進アーティスト作品展 V

作品募集
応募用紙受付期間
2月9日(金) 必着!!

この作品展は、地域の芸術文化水準の向上を図っていくとともに、未来の可能性を感じさせるアーティストを見出し、作品発表の場を提供することを目的として開催するものです。たとえ荒削りでも、新しいものに挑戦し、活みなぎる作品を是非ご応募ください。

応募要綱
【作品ジャンル】(展示する上での分類)
●平面作品…絵画、版画、写真、レリーフ、コンピューター・グラフィック等の手法を用いた平面作品

●立体作品…彫刻、オブジェ、等
●インスタレーション

応募資格、以下の条件をすべて満たしている方
●作家を志し、美術を通して表現することに情熱をかけている人。

●18歳～35歳まで。(平成18年4月1日現在)
●静岡県全域出身者および在住、在学、在勤の人。

応募方法、応募には所定の「応募用紙」が必要です。
●「応募用紙」に必要事項を明記の上、受付期間中に係まで郵送、または直接持参してください。

出品料、1,000円

新企画 《高校生の部》
“新しい時代をつくるのはキミだ!!”
これまで年齢制限のために、応募できなかった皆さん、ぜひ「今の自分」を試してみてください。

応募要綱、一般公募と同様
応募資格、●県内高校生(平成18年4月1日現在)

作品展会期、2007年3月3日(土)～11日(日)
10:00～19:00(最終日は17:00まで)

主催・お問い合わせ
(財)富士市文化振興財団「新進アーティスト作品展」係
〒416-0953 富士市藤原町1750番地
Tel.0545-60-2510 Fax.0545-60-2505
http://rose-theatre.jp info@rose-theatre.jp

ロゼシアター会館利用者 600万人達成

ロゼシアターは、平成5年11月1日の開館以来、会館利用者の総数が600万人を超えました。11月12日(日)には600万人達成記念セレモニーを行い記念感謝チケットプレゼントの抽選会をおこないました。チケットプレゼントにはハガキとホームページからのメールをあわせて1042通の応募があり、当選者にはチケットの発送をもって発表とかえさせていただきます。多くのご応募ありがとうございました。



写真提供・静岡朝日新聞社

ロゼシアターの渡辺さん(左)が、当財団評議員による静岡らしい心のこもったお茶を淹れて、日本茶独特の「甘み」「渋み」「苦み」の味の違いに驚きながら楽しんでいました。そして最後に「私も皆さんに心を込めて演奏をします。」とのメッセージを毎日ですがあったかい静岡茶でちゅっといつも休め心も体もホカホカ、お肌もツルツルしていたいです。

編集後記



寺井尚子さん、ライブの前にお茶を二服…。

十月二日のフルノーツジャズライブの際に、スチャゲスタのジャズウエイオリニスト、寺井尚子さんが静岡茶を堪能しました。お茶が好きで、毎日日本茶をゆづりりと時間をかけて楽しんでいるという寺井さん。この日は日本茶インストラクターの渡辺さん(当財団評議員)による静岡らしい心のこもったお茶を淹れて、日本茶独特の「甘み」「渋み」「苦み」の味の違いに驚きながら楽しんでいました。そして最後に「私も皆さんに心を込めて演奏をします。」とのメッセージを毎日ですがあったかい静岡茶でちゅっといつも休め心も体もホカホカ、お肌もツルツルしていたいです。

小学校学校コンサート

財団の育成事業の一環として、毎年開催している「小学校学校コンサート」。富士市内二五校の小学校を一年約八校ずつ三年間かけて訪問し各小学校の体育館において出前コンサートを開催しています。今回はその二回目。富士市に本拠地をおき、国内外で活動を行っている「鬼太鼓座」のコンサートを開催しました。「鬼太鼓座」は、富士まつりの参加や地域ボランティア演奏活動等も積極的にに行っており、市内にも大鼓団体に参加している児童も多いだけに、大好評のうちにも開催されました。「鬼太鼓座のみなさんどうぞ」の合同として「鬼太鼓座」のコンサートを開催しました。



写真提供・静岡朝日新聞社

プレゼントクイズ

2006年3月7日(水)公演「ふじ寄席」に出演する落語家は「春風亭小朝」とあと1人は誰? 漢字で答えてね!「〇〇〇」

プレゼント1 「クミコ シャンソンコンサート」2007年5月26日(土)公演チケット10組20名様

プレゼント2 レストラン「ロゼ」御食事券 2組4名様

プレゼント3 「ムード歌謡」サイン色紙 3名様
東京ロマンチカ、ロス・プリモス、マヒナスターズ

応募方法/添付はがきに、住所、氏名、年齢、電話番号、性別、クイズの答え、希望するプレゼント名(いずれか1つ)、本誌に対するご意見、ご感想をお書きのうえ、50円切手を貼り郵送してください。(平成19年3月末日消印有効)
なお、当選者はプレゼントの発送をもって発表にかえさせていただきます。

「まちの駅」開駅宣言!～ロゼは文化の始発駅～

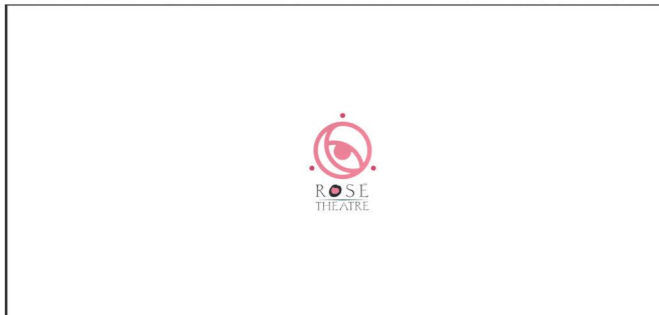
10月21日(土)、ロゼシアターは「まちの駅」として開駅し「地域のほっと♡スペース」としての役割も担うことになりました。「まちの駅」とは、外出の際にちょっと休憩したりトイレに寄ったり、または道を尋ねたり…と誰でも気軽に立ち寄れて活用できるお店や公共施設です。富士市には全部で10箇所の「まちの駅」があります。個性あふれ心が和む「まちの駅」、どうぞお立ち寄りください。

「ロゼ・サポーターズ」発足!!

ロゼシアターでは、今まで以上に地域に根ざした会館作りを目指し、市民ボランティアで構成する「ロゼ・サポーターズ」を発足することになりました。メンバーの皆さんはチラシの封入作業や折込作業をはじめ、ひとりひとりがロゼシアターの広告塔となりさまざまな情報を広く市民にお知らせする役割も担っています。11月2日(木)に行われた発足式では約20名の「ロゼ・サポーターズ」が集合し、緊張な面持ちで仕事の説明を聞いていました。

臨時休館日のお知らせ (保守点検の為、全館休館となります。●平成19年1月1日(月)・2日(火)・3日(水)・15日(月)●2月19日(月)・20日(火)・21日(水)・22日(木)●3月26日(月)

ロゼシアターホームページで情報を!! <http://rose-theatre.jp> ◆公演情報 ◆施設の空き状況 ◆交通情報 ◆メールマガジン配信など



Flash Back

ロゼシアター主催事業(9月～11月まで) フラッシュバック2006

9/3 (日) 青島広志の「音と絵のおつきあい」

絵のある音楽～コンサート
ピアノ/青島広志 ソプラノ/三崎今日子

・演奏の前の解説が楽しく、それを聞いてから曲を聴くとよく理解でき、目に情景が浮かびました。三崎さんの歌声もすばらしかったです。
・トークが楽しく、充実した時間を過ごせました。またぜひ!!

8/26 (土) 青島広志の「音と絵のおつきあい」

音楽のある絵～イラスト展

・絵の中にある物語と音楽が本当にすばらしいと思います。作曲のみではない先生の才能にびっくりしました。
・イラストもとても色彩がきれいで楽しく拝見させていただきました。

9/15 (金) 平成18年度 松竹新派特別公演

出演/水谷八重子・田中健・英太郎・山口泉 ほか

・何年振りかの観劇、すばらしく楽しいひとときを過ごし、明日への生きる願となりました。
・新橋演舞場に行かなくても、ロゼシアターで久しぶりに新派の芝居が観られて幸せでした。二代目水谷八重子さんととても素敵でした。

9/17 (日) ムード歌謡コーラス

～聴る魅惑のハーモニー～
出演/マヒナスターズ・ロスプリモス・鶴岡雅義と東京ロマンチカ

・素晴らしい感動でした。青春がよみがえった様で至福の時間を過ごさせていただきました。ありがとうございました。
・ムードコーラスの皆様のなつかしい歌声を聞かせていただきとても嬉しく思います。メンバーの元気な姿に感動しました。これからもお元気でいつでも素敵な歌声を聞かせてくださることを願います。

9/24 (金) 劇団シアタージャパン

ミュージカル「サロメ」

・ありがとうございます。結束力、スピード、しなやかな躍動感など圧倒されました。パライティにも奮んでおり、今後も楽しみです。
・ラストがとても感動的で涙がほほを伝いました。感動をありがとうございます。

10/7 (日) 古野光昭フルノーツ with 寺井尚子

出演/古野光昭(ベース)、川崎哲郎(サクソフ)、佐山雅弘(ピアノ)、大坂昌彦(ドラムス)
スペシャルゲスト:寺井尚子(ヴァイオリン)

・最高のジャズ!堪能しました。
・尚子さん大好き!
・とても素敵な時間を過ごせました。すごく良かったです。今日は誕生日だったので、素敵な思い出ができました。

11/4 (土) イングリット・フジコ・ヘミング&モスクワ・フィルハーモニー交響楽団

指揮/ユーリ・シモノフ

・夢の中にいるようなすばらしいピアノ演奏で感動し、涙が自然に流れてきました。
・一度は聴きたいと思っていた公演を地元で聴けたなんて夢のようです。このような公演をぜひまた企画していただきたいです。とても素晴らしいです。ユーリの指揮も素敵でした。

11/5 (日) 富士ロゼシアター・K-MIX共催公開録音 LIVE IN 富士ロゼシアター

出演/Skoop On Somebody、種村花菜、theSoul

・とても楽しくライブありがとうございました。富士の人たちもみんなやさしくて感激でした。Skoop最高!
・どのアーティストもすばらしかったです。こんな機会があれば出会うこともなかったかもしれないので、このライブに来れたことをうれしく思います。

11/11 (土) 伊勢正三プロデュース ロゼフォークプラザ 2006

出演/伊勢正三、南こうせつ、尾崎亜美

・3人のコラボレーション最高でした。「海風」本当にカッコイイ!とてもステキなLiveありがとうございました。
・懐かし涙がこぼれてしまいました。ありがとうございます。楽しいひと時、優しい気持ちで帰ります。